

2023年3月号



イエス様の教えを宣べ伝えよう。温かい交わりのある教会、祈りの共同体

# 復活教会便り

電話 082-227-1553

献金用口座（ゆうちょ銀行）日本聖公会広島復活教会 店名五一八（518） 普通 1377700

## 礼拝後の報告について

3月の教会委員会で協議した結果、4月から礼拝後の報告を「派遣の唱和」の前に変更することになりました。これは、先日の総会の中で、信徒さんから「派遣の後に報告があるのなら、その後に聖歌を歌った方がいいのではないか」というご意見をいただいたことがきっかけです。このご意見、礼拝のことをよく学んでおられるからこそものだと思います。

「派遣」とは、「ハレルヤ、主とともに行きましょう。ハレルヤ、主のみ名によって アーメン」という聖餐式の最後の唱和のことを指します（祈祷書183頁）。現在の祈祷書のひとつ前、1959年の祈祷書見てみると、派遣の唱和は「いざ我らいでゆかん」と司式者が述べることになっています。これは、「イテ・ミサ・エスト」というラテン語の日本語訳と言われており、直訳すると「行きなさい、終わりました」となります。つまり、派遣の唱和とは「み言葉」と「聖餐」に与った私たちが、イエスさまとそして集まった人々と「一つ」になって、出発していく掛け声なのです。しかし、その後報告が始まってしまうと、「派遣の唱和」の意味が薄れてしまうのではないかという課題が、事あるごとに語られてきました。その方がご意見された意図の背景は、以上のようなことがあると思います。

先日もお伝えしたとおり、総会后私は台湾に行っておりました。そこで、台湾聖公会の主教座聖堂の礼拝に出席したところ、「司式者の祝福→報告→退場聖歌→派遣の唱和」という形の聖餐式が行われていました



（QRコードから動画を見ることができます）。その後、一緒に会議に参加していた、他の教区の司祭に聞いてみました。すると、「〇〇教区では、多くの教会で派遣の前に報告をしていると思う」ということでした。広島復活教会にとっては、これまでの形を変更することになりますが、「イエスさまとともに「派遣される」という意図を大切にしたい」というご意見もありましたので、今回変更させていただきたく提案させていただきました。復活教会では、4月から「司式者の祝福→報告→派遣の唱和→退堂聖歌」という形にさせていただきます。しばらく慣れないこともあるかと思いますが、以上のような経緯と「派遣」の意図を考えた上での変更であることをご理解いただければと思います。

司祭 バルナバ 永野拓也

## 2023 年度第 1 回広島伝道区会に参加して

先日、伝道区会が開催されました。その様子を、木本さんに報告していただきます。

広島伝道区会が徳山聖マリア教会にて 2 月 25 日、伝道区委員以外の参加という形では 4 年振りに開催されました。神戸より神戸教区主事・財務部長の大東正人さん、同じく財務部の萩原義晴さん



(神戸聖ペテロ教会信徒) を迎え、竹内司祭、永野司祭、伝道区内 4 つの教会の伝道区委員さん、そしてその他の信徒さん達で約 20 名の参加でした。

教会を 9 時に出発、天候・道路事情もよく順調に到着、11 時からの聖餐式に与りました。礼拝の始まる前から久しぶりの対面での再会に喜びがあふれていました。ランチをはさみながら自己紹介、各教会の近況報告や取り組みが話されその後議案・協議事項に入り、2022 年度活動報告及び会計決算報告があり承認されました。更に今年度の活動及び予算案などが真剣に討議され承認されました。

その内容の概略ですが、今年度の活動に関してはポストコロナの活動を活発にするため参加者を増やす目的で、SS キャンプや研修会の予算が増額されることが決定されました。教区主事・財務部長の大東さん、財務部萩原さんから①牧会資金援助金は自助努力、共助という観点から行っている②神戸教区の財政は大半が献金と他のいくつかの収入で維持されているが不足を補うためには何らかの収益事業などを取り入れる必要があるとの意見を話されました。③5 月連休明けには今年度の新たな拠出金が提示される予定で理解と協力の依頼をされました。また伝道区会計監査役に当教会の西本興太郎さんが選出されました。西本さん

は、広島復活教会での「み言葉の礼拝」の取り組みについて、司式者が「み言葉の礼拝」の学びや訓練を深めたうえで、厳粛に司式を行い務めを遂行されていることに、感銘を受けているとの体験を述べられました。この体験談に関して神戸の方々や他教会からの反応が大きくとても参考になるなどの意見が交わされました。近い将来聖職の方々の減少は今よりも更に顕著になる可能性があるとのこと、信徒一人ひとりもその課題と向き合わねばならないことを気づかされました。まだまだお話ししたい聞きたい気持ちを残しつつ終わりの時間を迎えました。膝を突き合わせてのお話し合いに心もほぐれ安心感と明日への希望を得て、徳山聖マリア教会の暖かいおもてなしを感謝しつつ帰路につきました。

テレジア 木本慈子

## 3 月以降の礼拝・行事案内

3 月 26 日 (日) 10 時 30 分～ 聖餐式

(現在依頼している中村主教の礼拝奉仕は 26 日までとなります)

礼拝後 ランチサンデー

映画会

4 月 2 日 (日) 10 時 30 分～

棕櫚の祝福・聖餐式

礼拝後 イースター前の大掃除

4 月 6 日 (木) 16 時 00 分～ 洗足式・聖餐式

4 月 7 日 (金) 12 時 00 分～ 受苦日礼拝

4 月 8 日 (土) 10 時 30 分～ 聖土曜日 **聖モニカ礼拝堂**

13 時 30 分～ **イースター準備**

17 時 00 分～ 復活日前夕の礼拝

4 月 9 日 (日) 10 時 30 分～ **復活日聖餐式**

## コロナ対策について

マスク着用については、高齢者や妊産婦、エッ  
ソーシャルワーカー（医療従事者、幼稚園関係者  
等）の方も教会に来られますので、引き続きご配  
慮いただければと思います。すべての人が、教会  
に集えることが大切なことと考えています。その  
他の対策については、来月の教会委員会で協議予  
定です。

## 教会行事掲示板



礼拝堂の入り  
口横に、掲示板が  
設置されました。  
教会の行事案内  
などを掲載して  
います。教会にお  
越しの際は、ご覧  
になってくださ  
い。よろしく願  
いいたします。